

第630回経済学会例会

2024年2月21日（水）

報告者 宮川 栄一

論題 制裁と反省のゲーム理論分析

要旨 悪い行いをした人や組織に対して、各々が自分の判断で制裁を加えることが多い。非難を浴びせたり、嫌がらせをしたり、暴力をふるったり、経済制裁を加えたり、方法は様々である。制裁が予期されることは悪事に対する抑止力となるが、コストを払ってまでして制裁を加える側の動機・欲求がどこから来るかが問題になる。本研究では、制裁を加える目的を相手の反省と考え、制裁を加える人と悪事を働く人の相互関係をゲーム理論のモデルで分析する。まだよく分からない部分が多いので、皆様からのコメントを参考にさせていただきます。